

## 全国大会の夏（全国高等学校総合体育大会・全国高等学校総合文化祭）

県地方大会を勝ち抜いたG高体育系、文化系の精鋭たちが夏を謳歌しました。いずれも顧問の報告を元に紹介します。

まず、フェンシング部は7月28日、29日に山口県岩国市で全国高等学校総合体育大会に出場しました。

男子個人フルーレに山口章司君(3-5)が出場し1勝3敗の成績で、予選通過の成績に僅かに及ばず67位となりました。

学校対抗では、山口君、藏元星弥君(2-5)、比嘉正直君(1-5)が出場し、3人総当たりの9試合中藏元君が1勝し6試合を戦い、成績はチームスコア1-5で敗れました。

個人での予選突破、学校対抗での1勝の壁は高く厳しい結果となりましたが、1・2年生にとってはレベルの高い決勝戦を観戦できる良い機会になりました。

ーフェンシング部顧問 竹島恵美子先生ー

次に、放送部は8月2日、3日広島県広島市で全国高等学校総合文化祭放送部門が開催されました。本校からは朗読の部に森屋彩さん(2-2)、アナウンス部門に安福太郎君(2-1)が出場しました。

朗読部門は初日に行われ、全国から144人が出場し、森屋さんは前日から緊張している様子が伝わっていましたが、本番では「椎の川」を朗読し、全国の高校生にウチナーグチに親しみを感じてもらえるようウチナーグチが多く含まれる箇所をあえて用い工夫を凝らしました。

アナウンス部門は2日目に行われ、この部門も全国から144人がエントリーし、安福君はうるま市の闘牛の魅力を全国の高校生に紹介することができ、発表後のインタビューでは沖縄の食について質問を受け、海ぶどうの説明では多くの笑いも取れていたそうです。

ー放送部顧問 眞壁義隆先生ー

残念ながらフェンシング部、放送部とも上位入賞は叶いませんでしたが、上位入賞あるいは予選突破校との差は僅かなものだったそうです。全国の大舞台で萎縮することなく堂々と試合・発表したことを心から賞賛し、来年に向けての課題克服と更なる精進を願うものです。

# 全国高校文化祭(広島大会)の様子

